



# 古澤 巖 × 山本耕史 コンサートツアー

塩谷 哲(音楽監督・ピアノ) / 小沼ようすけ(ギター)、大儀見 元(パーカッション)、井上陽介(ベース)

# DANDYISM BANQUET II

ダンディズムバンケット2

Dandyism Banquetとは、音楽とは、いったい何なのか。

「赤と黒」「空と大地」「男と女」「生と死」「涙と笑顔」「正義と悪」…

対極の中で生まれる音楽。音楽の対極にあるものは…。

感じあい、理解しあい、思いを共有する。究極の愛がそこにある。

《特別協賛》 株式会社アルソア慧央グループ

《後援》 ハツアンリミテッド

公益財団法人静岡県文化財団

テレビ静岡

《企画制作》 NHKエンタープライズ



2024年1月14日 開演 16:00  
日 [日] (開場 15:30)

静岡県コンベンションアーツセンター JR東海道線 東静岡駅南口隣接  
グランシップ 中ホール・大地  
(静岡市駿河区東静岡2丁目3番1号)

チケット  
全席指定(税込)

通常価格  
7,800円を  
**7,500円**

※未就学児の入場および乳幼児の同伴不可

※チケットのお取扱いは裏面をご覧下さい

主催/お問合せ

静岡リビング新聞社  
**054(255)1231**

新たなる「ダンディズム・バンケット」によせて



既存の枠組みにとらわれない、全く新しい形のコンサートが今は必要とされている時代はない。「ダンディズム・バンケット」は、その最高の成功例の一つである。

昨年の公演は今も鮮烈に記憶に残っている。常に挑戦を続けていた二人のパフォーマー、ヴァイオリニスト・古澤巖と俳優・山本耕史、そして音楽監督である、ピアニスト塩谷哲をはじめとしたスーパーミュージシャンが、美しく緊密に構成された舞台の上で、何と洗練された熱いコラボレーションを展開していたことだろう。シェイクスピアや近松ら古典文学の「言葉」から始まって、都会的な

「音楽」へとつながっていく流れが見事だった。それは、演劇にも音楽にもなりうるような新しい何かだった。ダンディズムとは何か、年を重ねた男がどう生きていくべきか、そんな美意識について改めて考えさせてくれるステージでもあった。

今回の新しい「ダンディズム・バンケット」は、音楽の対極にある反対物とは何かを考え、問題提起していくメッセージ性の強いものになるという。あらゆる音楽ファン、演劇ファンにとって、さらに進化した刺激的なステージが展開されるに違いない。 林田直樹(音楽ジャーナリスト・評論家)



※掲載写真は昨年のステージより

*Artist*

古澤 巖 (ヴァイオリン) Iwao Furusawa



毎年12月にベルリンフィルとのツアーア「愛のクリスマス」(宗次コレクションのストラディバリウス使用)、3月フランスから「コルシカ音楽祭」、6月からはTSUKEMENのTAIRIKプロデュース「品川カルテット」など年間150公演を行う。洗足学園音楽大学客員教授、COCO FARM WINERY取締役、テラモスレーシングチームでマツダロードスター・パーティーレース及び耐久レースに毎年参戦、日向では毎夏音楽&サーフキャンプ開催も行っている。未だかつて無い山本

耕史との新たなステージに強烈な刺激を受け2年目を迎える。バンドでのステージは本公演のみ。

<https://www.iwao-furusawa.com/>



山本耕史 (語り・歌) Koji Yamamoto



1987年日本初演「レ・ミゼラブル」で舞台デビュー、1993年「ひとつ屋根の下」で注目を集め。映画「きのう何食べた?」「シン・ウルトラマン」、舞台「RENT」「嵐が丘」を始め多くの作品に出演。ミュージカル「メンフィス」では読売演劇大賞 優秀男優賞を受賞。2004年大河ドラマ「新選組!」土方歳三役で人気を博し、2012年「平清盛」藤原頼長、2016年「真田丸」石田三成、2022年「鎌倉殿の13人」三浦義村役の庄番の演技で高い評価を得た。2023年NHK「大奥」、TV朝日「ハヤブサ消防団」、舞台「浅草キッド」出演等その勢いが止まらない。

<https://magnum1031.com>

Koji Yamamoto



塩谷 哲 (音楽監督・ピアノ) Satoru Shionoya



ピアニスト・作・編曲家・プロデューサー・ソロアーティストとして今まで12枚のオリジナルアルバムを発表。小曾根真(p)との共演、佐藤竹善(vo)との“SALT & SUGAR”や上妻宏光(三味線)との“AGA-SHIO”的活動、リチャード・ストルツマン(da)、スティーヴ・ガッド(dr)ほか多数のコラボレーション等、活動のジャンル・形態は多岐に渡る。メディアでは、NHK Eテレ『趣味Dō楽“塩谷哲のリズムでピアノ”』(2014年)、NHK Eテレ音楽パベットバラエティー番組『コレナンデ商会』(2016年~2022年3月)の音楽等を担当。現在、国立音楽大学ジャズ専修准教授。(敬称略)  
<https://www.earthbeat-salt.com>



井上陽介 (ベース) Yosuke Inoue



大阪音楽大学作曲科卒。91年よりニューヨークを拠点に活動。在米中、ハンク・ジョーンズなどの数々のグループでの国際的に活動。2004年には活動の拠点を日本に移す。2021年9月に武本和大(P)濱田省吾(Ds)とレコーディングした10枚目のトリオ第二弾「Next Step」をリリース。現在、自己のグループ他、塩谷哲、大西順子、渡辺香津美、古澤巖&山本耕史 Dandyism Banquetのレギュラーメンバーとして活動の他、数々のセッションに精力的に活動。

<http://yosukeinouejazz.sakura.ne.jp>



ご来場のお客様へ

感染症対策に注意し実施いたします。発熱や咳など症状があるお客様は、ご来場いただいてもご入場をお断りさせて頂く場合がございます。ご来場予定の皆様のご理解、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。なお、お買い求め頂いたチケットの変更・キャンセルはできません。公演中の写真撮影・録音・携帯電話等のご使用は、固くお断りいたします。

チケット取扱い <一般販売／2023年9月22日(金) 10:00～>

[ 静岡リビング新聞社 ] ☎ 054-255-1231 (平日 10:00～17:00)

[ グランシップチケットセンター ] ☎ 054-289-9000 (10:00～18:30)  
<https://www.granship.or.jp>

